

令和４年度和木町子ども・子育て会議会議録

文化会館講習室 ２月２０日

１８時３０分～

出席者：７名

| 所属             | 氏名     |
|----------------|--------|
| 和木小学校ＰＴＡ副会長    | 村上 邦明  |
| 和木町母子保健推進協議会会長 | 米本 道江  |
| 和木町放課後こども教室    | 崎本 みどり |
| 和木小学校校長        | 折出 美保子 |
| 和木こども園長        | 佐伯 公夫  |
| 和木こども園副園長      | 岸本 京子  |
| 和木こども園副園長      | 松井 千登世 |

委任状提出者：２名

欠席者：１名

事務局：森本事務局長、米村事務局長補佐、小清水主事

関係課：池田課長補佐（保健福祉課）、渡邊所長（保健相談センター）

| 開会                            |                                                                                                                                 |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 森本事務局長                        | あいさつ。                                                                                                                           |
| 事務局(米村)                       | 委員紹介。                                                                                                                           |
| 事務局(米村)                       | 和木町子ども・子育て会議設置要綱第６条第２項の規定により委員総数１０名中７名の出席及び２名の委任状の提出があり、会議成立の報告。                                                                |
| 事務局                           | 出席職員の紹介                                                                                                                         |
| 議題１ 会長副会長の選任                  |                                                                                                                                 |
| 事務局(米村)                       | 委員の皆様の提案がなければ、事務局提案により、会長は和木小学校折出校長、副会長は和木こども園佐伯こども園長を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。拍手多数により承認。                                           |
| 会長                            | あいさつ。                                                                                                                           |
| 副会長                           | あいさつ。                                                                                                                           |
| 議題２ 令和３年度の和木町子ども・子育て支援事業計画の評価 |                                                                                                                                 |
| 事務局(米村)                       | 時間の都合上、変化が顕著な部分のみの説明。働く保護者の増加により、１号認定者は減少し続けている。よって、１号認定者、２号認定者の数値は変更をしたいと思います（議題３にて説明）。園外児童の一時預かり事業は、広域利用の児童数が含まれていたため、数値を１０２に |

|                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                         | <p>訂正します。地域子育て支援事業（こども園）については、若干回復傾向にあり、コロナ禍でも感染者数の減少の境目で利用があったのではないかと推測されます。今後は、回復するのではないかと思います。延長保育事業、乳幼児全戸訪問事業については、数値の乖離がありますので、議題3にて説明させていただきます。ファミリーサポートセンター事業は、広島広域、大竹市、岩国市と協議をしましたが、今のところ共同事業として実施することは難しいようです。委託事業になると思いますが、委託先が町内にはございません。調査研究をということでご理解ください。母子保健事業は、コロナ禍の影響で数値が下がっております。また、ワクチン業務により、事業が実施できなかったものもございますので、お読み取りください。</p>           |
| <b>質疑応答</b>                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 岸本委員                                    | <p>12ページの子育て包括支援センターの相談件数が増加している。何の相談が多いのか教えてください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 保健センター                                  | <p>令和2年度は、対面相談のみをカウント、令和3年度は、電話相談もカウントしたため、数値が増加しています。相談は、母子保健に関すること、発達相談が多いと思います。これからは、伴走型相談支援支援が始めるので、少子化にはあるが、相談件数は減少しないと思われます。</p>                                                                                                                                                                                                                         |
| 崎本委員                                    | <p>0歳児の実績値ですが、最初は少ないのは分かるが、最終的にどうだったのか知りたい。この数字は最初の段階の数値であり、記載する意味合いもないような気がします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 事務局(米村)                                 | <p>基準日の利用者数を記載しております。確かに委員のおっしゃるとおり、4月1日の利用者数として記載しておりますので、次から工夫させていただけたらと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <b>議題3 和木町子ども・子育て支援事業計画の中間値の見直しについて</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 事務局(米村)                                 | <p>中間年の見直しについては、計画が本年度3年目で中間年の年にあたることから、実績値と乖離している部分については、見直しが必要であると考えております。見直しをする箇所は、1号認定者数、2号認定者数、延長保育事業、乳幼児全戸訪問事業です。</p> <p>人口から、利用者数を推計しますので、人口推計を新たに行いました。計画策定時の人口と比較すると減少していることが分かります。1号認定者の年齢である3歳から5歳の年齢が令和5年度が167人、令和6年度が161人となり、1号認定者の割合34%、2号認定者の割合を66%としております。これが見込値とし資料3に示しているとおりになります。グラフで比較すると分かり易いと思います。今回推計したのは、5年度、6年度の人口の値となります。0歳児について</p> |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | <p>は、減少率より推計しておりますが、そのままの減少率を6年度人口に当てはめると43人と極めて少なくなってしまうので、アフターコロナということで維持できると見込み、同数の47人と見込みました。これらの人口値から、見込値を算出しております。延長保育事業については、実績値に基づき5年度と6年度は44人を見込値としています。乳幼児全戸訪問事業については、出生数ということで見込値を設定しているので、令和5年度、6年度の推計値を47人と変更させていただけたらと思います。</p> |
| <b>質疑応答</b>     |                                                                                                                                                                                                                                               |
| 村上委員<br>事務局(米村) | <p>和木町の少子化ということで、和木町の出生率は今いくらですか？</p> <p>すみません、今現在の数値は把握しておりません。確か、4年か5年の区切りで算出されるものであったと思います。</p>                                                                                                                                            |
| 村上委員            | <p>和木町に住みたい、地域で子育てを応援したいという心が大事だと思います。奈義町では、出生率が2.95と高い数値が新聞に載っていました。地域で子育てを支え合う取組みが行われているようです。和木町にも、このような取組みが必要です。これからは、選ばれる和木町、もっと子育てがしやすいと思われる、何か取組みをしなければ、更に子どもの数は少なくなります。少ない子どもの奪い合いになると思います。</p>                                        |
| 事務局<br>崎本委員     | <p>委員の言われることは理解できます。その通りです。</p> <p>子育てサロンで、私はインターネットで調べて和木町って子育てし易いんだなと思って、引っ越してきました。と話される方がおられたので、まだまだ和木町頑張れるなと思いました。</p>                                                                                                                    |
| 事務局             | <p>子育てを大事に思う保護者は、増加しているんじゃないでしょうか。パパママ育休を取得する方もおられますので、母だけの子育てではなくなりつつあるんじゃないでしょうか。少子化ということを補足しますと、母子健康手帳の交付数も減少しておりますので、少子化が進んでいることはあきらかです。</p>                                                                                              |
| 崎本委員            | <p>父子手帳の交付と書いてあるが、どんなもので、皆さんにお配りしているんですか？</p>                                                                                                                                                                                                 |
| 事務局             | <p>この手帳は、子育ての記録を母だけではなく、父親も記録して子育てを一緒にしていこうという気持ちの醸成を培うことを目的に山口県が作ったものです。この数値は、実績値にて報告していただいているものです。このような説明で大丈夫ですか？保健相談センター所長。</p>                                                                                                            |
| 保健センター          | <p>母子世帯の方もおられますので、全ての方というわけではありません。</p>                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局             | <p>議題3については、計画値の変更をしますので、承認が必要です。皆様承認いただけるということでよろしいでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                |

|        |                      |
|--------|----------------------|
|        | 拍手多数<br>ありがとうございました。 |
| 森本事務局長 | あいさつ。                |
| 閉会     |                      |